

授業概要

3歳未満の子どもの保育とその展開について、演習を行ったり具体的な事例から考えたりすることで実践力を養う。乳児保育Ⅰで学んだ基礎的な知識を用いながら、保育者としての専門性を身につける。乳児保育における保育者と子どもの関係性、保育の計画、安全や衛生等について講義する。赤ちゃん人形を用いた演習を実施し、乳児とのかかわり方や援助の具体的な方法について指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション 乳児保育Ⅰの学習内容の振り返り
第2回	保育者の役割と子どもとの関係性
第3回	乳児とのふれあいの基本 だっこ・おんぶの仕方とその配慮
第4回	排泄の援助と環境 おむつ交換とおむつはずれ
第5回	食事の援助と環境① 調乳・授乳
第6回	食事の援助と環境② 離乳食の基本・進め方・食べさせ方
第7回	着脱・清潔に関する援助と環境 衣服の着脱・沐浴
第8回	乳児保育における安全・衛生管理① 衛生について、SIDSについて
第9回	乳児保育における安全・衛生管理② 日常生活における危険
第10回	かみつき・ひっかきへの対応
第11回	乳児の生活と遊びの環境① 手作りおもちゃ
第12回	乳児の生活と遊びの環境② 絵本
第13回	乳児保育における計画と評価の実践
第14回	連絡帳の書き方
第15回	振り返りとまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

- ・乳児保育（0・1・2歳児の保育）における保育者の役割を理解することができる。
- ・乳児との基本的な関わり方を理解し、実践することができる。
- ・乳児の生活と遊びを支える環境について理解し、具体的な方法を構想、立案することができる。

履修上の注意

- ・授業では、適宜、視聴覚教材を使用したりグループワークを実施したりすることで、体系的に学んでいく。
- ・積極的に授業に参加すること。教科書や資料を常に持参すること。

予習・復習

- ・予習：教科書の該当テーマに関連するページを通読し、疑問点やコメントを記す。わからない単語や概念については文献やインターネット等で確認しておく。
- ・復習：ノートや資料を読み直し、学んだ点と疑問点をまとめることで理解を深める。

評価方法

- ・受講態度（20%）、課題への取り組み（30%）、試験（50%）で評価を行い、総合評価51点以上を合格点とする。

テキスト

- ・教科書名：はじめて学ぶ乳児保育
著者名：志村聡子編著、塩崎美穂・藤枝充子・渡邊美智子・坂田知子・柳井郁子・小柳康子・宇都弘美著
出版社名：同文書院
出版年（ISBN）：2022年（978-4-8103-1515-8）
参考文献：保育所保育指針解説書・幼稚園教育要領解説書